

PRSJ NEWS

2023年9月号 No.354



6月に開催した企業部会総会の様子。開催報告会(会員限定)はP13に掲載

TOPICS

MESSAGE

PR協会事務局オフィス —その変遷—

PRSJ 監事 大石 哲也

P3

9月入会の皆様のご紹介

P4

BULLETIN

今年も「新任広報部長講座」を対面開講報告

P10

「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」を対面開講報告

P11

夏季情報交歓会開催報告

P12



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 牧口 征弘

目 次

9月~10月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	P R協会事務局オフィス —その変遷—	P3
新入会員紹介ページ	9月入会の皆様のご紹介	P4
ATTENTION(お知らせ)	「PR アワードグランプリ 2023」エントリー受付中！	P5
”	PR プランナー資格制度 Web サイト 2 次試験科目 D（時事問題）の参考問題を更新	P7
	90名のP Rプランナー誕生、資格取得者は累計 3,186名	P8
BULLETIN(活動報告)	今年も「新任広報部長講座」を対面開講	P10
	「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」を対面開講	P11
	夏季情報交歓会開催報告	P12
	企業部会総会開催報告（会員限定）	P13
	PR 業部会ワイガヤ会開催報告（会員限定）	P13
REPORT（レポート）	第 226 回定例研究会開催レポート（正会員・個人会員限定）	P14
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P15
事務局だより		P16

9～10月 セミナー・イベント スケジュール

【オンライン】

パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023

日 時 : 通年開講
講 師 : 東京都市大学 都市生活学部／大学院環境情報学研究所
准教授 北見幸一氏他、全9名

【会場開催】・【オンデマンド視聴】

第 226 回定例研究会

日 時 : 会場セミナー：7月28日（金）14:00～15:20
オンデマンド視聴：8月8日（火）～ 9月4日（月）＜予定＞
テーマ : 『日経クロストレンド』の編集と最新トレンドの読み方 ～コロナ5類移行、最新マーケティング事例から今後のトレンドを探る～
講 師 : 日経 B P 『日経クロストレンド』編集長 勝俣哲生氏
会 場 : ミーティングスペース AP東京八重洲「Wルーム」

【オンデマンド視聴】

PR ケーススタディ 2023 <第 1 回>

日 時 : 7月18日（火）～2024年4月30日（火）
テーマ : 卓越した P R プロジェクトから成功のポイントを学ぶ
講 師 : 合同会社ユー・エス・ジェイ ブランドPR ディレクター 柳沢洋子氏
株式会社プラチナム グローバルコミュニケーション局 PRプランナー
小田切 萌氏
味の素冷凍食品株式会社 戦略コミュニケーション部 PRグループ長
勝村敬太氏

【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ <第 1 回>

日 時 : 7月25日（火）から2024年7月31日（水）
テーマ : リスクコミュニケーション（危機管理広報）
講 師 : 株式会社電通PRコンサルティング エグゼクティブコンサルタント 松本 太氏
報道対策アドバイザー 窪田順生氏
シエンプレ株式会社 WEBソリューション事業部 シニアマネージャー 桑江 令氏

【会場開催】・【オンデマンド視聴】

第 227 回定例研究会

日 時 : 会場セミナー：9月15日（金）14:00～15:20
オンデマンド視聴：9月26日（火）～10月23日（月）＜予定＞
テーマ : デジタル時代における「日テレ」の経済報道 ～「日テレ」経済部がめざすこれからのネット活用とは？～
講 師 : 日本テレビ放送網株式会社 報道局経済部 担当部長／解説委員 大野 伸 氏
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ「カンファレンスルーム6」

【オンライン】国際セミナー

日 時 : 9月21日（木）19:00～20:30 <予定>
テーマ : カンヌライオンズ2023 P R 部門受賞作品から見えてくるもの
講 師 : (株)電通PRコンサルティング 執行役員 井口 理氏、PRコンサルタント 尾上 玲円奈氏、(株)博報堂 執行役員／博報堂ケトル クリエイティブディレクター・編集者 嶋 浩一郎氏、(株)本田事務所 代表取締役／P R ストラジスト 本田哲也氏

【会場開催】

第 29 回 広報活動研究会

（共催：関西部会）

日 時 : 10月6日（金）13:45～17:30／懇親会17:30～19:00
会 場 : 近畿大学 東大阪キャンパス

9月～10月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(9月度)	日時	: 9月14日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(10月度)	日時	: 10月12日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(9月度)	日時	: 9月20日(水)	13:30～15:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(9月度)	日時	: 9月28日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(9月度)	日時	: 9月1日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(9月度)	日時	: 9月28日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(9月度)	日時	: 9月20日(水)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(9月度)	日時	: 9月6日(水)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(9月度)	日時	: 9月19日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

PR協会事務局オフィス —その変遷—



PRSJ 監事 大石 哲也
(株式会社スパイスコミュニケーションズ 代表取締役)

“若手”なんて言われて当協会活動に参画する様になり、早通算18年！今や“古参”の声多く自分自身でも驚いている昨今です。PR協会の事務局オフィスの変遷をつれづれなるままに。

20年も時を遡り、現事務局長 青田さんが現役バリバリの代表として電通PRより当協会へ出向されたのは、博報堂PRの顔役 柴田氏が理事長のときでした。失礼な言い方ながら、協会への出向者は定年前の習慣風習を超えて＜今後の日本のPR＞を鑑みてエポックな出来事だった様です。柴田氏は電通PR出身で博報堂PRを築き上げ、その後サニーサイドアップ社へと、我が国のPRの1シーンを作り上げたご存知の生粋のPRマンです。当時は日本のPR産業の礎として、オズマPR 柳氏、共同PR 大橋氏、プラップジャパン 矢島氏の創業社長各氏が多くの意見を発せられる時代に、青田氏は拡く業界の意見を聞きたいと新興PR会社代表を訪ねられていました。この世代の特長としてPR会社に就職し、その後スピンアウトして独自のPR会社を立ち上げ成長の途中にあった中に、私も巻き込まれてからのスタート。当時は下町風情豊かな新富町—これは電通と電通PRにより近い地政学的な事柄かも知れません。ある意味、組合の寄り合い感覚の方も多く、会合後の飲み会は老舗鰻屋、焼鳥屋も多く、もっと言えば雀荘にも事欠かない場所の様でした。

柴田理事長（&青田事務局長）の推進により、当協会初の企業部会よりの理事長としてTDK広報部 片山氏が就任。これを機に企業部会の活動と会員数が大幅に活性化へとむかいました。より集まりやすく、より高いプレステージを求める声も多く、当時企業部幹事の森ビル広報部様の協力もあり、現在の森タワー六本木ヒルズ ノースタワー5Fへの移転となります。協会活動の各種セミナー、大人数と化した各委員会の参集の簡便さを求めて、六本木ヒルズ内51F ヒルズクラブの各種施設を優先、格安で利用出来る特典もメリットがありました。月1回の理事会は、クラブ内イタリアンダイニング個室を利用して東京の眺望を眺めながらの議事進行も新富町時代よりの仕出し弁当からパスタランチと大きく変わりました。森ビルの国際企業化、業務拡大の流れより六本木ヒルズクラブの特典利用も少なくなった傾向を受け、大会議室を有する協会事務局の声が多くなり引越準備金予算枠を設けた後のコロナ時代への突入—我が国をリードするデジタル企業部会様の知恵とご尽力でPRプランナー制度のオンライン化、各種セミナーWeb化、リモート会議と協会活動のデジタル化を否が応でも進めなくてはならない時代を無事乗り切った今2023年9月です。

一般企業のオフィス機能と形態変遷同様、当協会の事務局オフィスもひと安心となった思いです。

トランサムノット合同会社



Transom Knot, Inc.

トランサムノット合同会社 / 小林秀行と申します。
PRSJ 正会員社でもあるインテグレート、マテリアル、また
TBWA HAKUHODO で経験を積ませていただきまして、2023 年に
開業をした新参者でございます。

これまでも PRSJ の取組みを様々な形で享受させていただいて
おりましたが、改めまして、協会倫理綱領を深く胸に刻み、ま
た常に最新の勉強を怠らないよう、入会を申請させていただ
きました。

活動にはなるべく積極的に参加し、PR 市場の一端にいる者
として恥ずかしくないように努めます。

何卒よろしくお願ひいたします。

不二製油グループ本社株式会社



PRSJ 会員の皆さま、はじめまして、不二製油グループ本社と
申します。この度 PRSJ へ入会させていただけることとなりま
した。弊社は 1950 年に設立した、食品素材メーカーです。事
業内容は社名の通り植物性油脂を祖業に、業務用チョコレート、
乳化・発酵素材、大豆加工素材となります。それだけでは
イメージできないと思いますので、その PR の仕方も含めて
学んで参りたいと思います。本社は大阪となりますが、東京で
の活動につきましても参加できればと考えております。この
度の入会を通じて、皆さまから学び、弊社についても知ってい
ただければ幸いです。何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よ
ろしくお願ひ申し上げます。

「PRアワードグランプリ 2023」エントリー受付中！ 10月16日(月)17:00が締め切り(必着)です 顕彰委員会

8月21日(月)から「PRアワードグランプリ 2023」のエントリー受付を開始しております。最終受付の締め切りは10月16日(月)17:00(必着)です。皆さまからのエントリーを、心よりお待ちしております。

「PRアワードグランプリ 2023」応募概要

- <後援> : 経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会
<エントリー案件> : 企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。
※現在継続している活動を含む
※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

<成果イメージ> :

- コーポレート・レピュテーションの向上
- マーケティング面における貢献
- ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現
- 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

<エントリー方法> : 「PRアワードグランプリ 2023」のエントリーフォームに必要事項を入力し、作成した既定のエントリーシートを添付して登録。

<エントリー料> :

- 22,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)
- ※2023年9月16日(土)～10月16日(月)17:00必着

<審査について> :

審査委員長と9名の審査委員の計10名で構成。審査委員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。

なお、顕彰委員会及び審査委員の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査(11月16日(木)予定)
審査委員が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。
2. グランプリ審査(11月30日(木)予定)
一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査委員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。審査終了後、審査結果をご担当者様にメールにてご連絡いたします。

<表彰式について>

12月13日(水)、全受賞エントリーに対し表彰式を開催。また、シルバー以上の受賞エントリーについては、一般公開のためプレゼンテーションを行っていただきます。

日時: 2023年12月13日(水)16:30～20:00(予定)

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者様にメールでご案内いたします

<ご参考>

その他アワードに関する記事や Web ページのご案内

◆アワード応募概要

<https://prs.j.or.jp/pr-award/>

◆アドバタイムズ アワード特集記事

◇第1弾

「PRアワードグランプリ」審査委員長を務める本田哲也氏（本田事務所）と、ACC 賞PR部門の審査委員長である眞野昌子氏（日本マクドナルド 広報部 部長）との対談が実現。

PR部門をACC賞が新設「合意形成のクリエイティビティ」が今こそ必要に

[\(前編\)](#)

<https://www.advertimes.com/20230619/article423264/>

[\(後編\)](#)

<https://www.advertimes.com/20230619/article423264/>

◆過去の受賞事例

<https://prs.j.or.jp/pr-award/list/>

◆協会 SNS でアワード情報も更新中

X (旧 Twitter) : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

PRプランナー資格認定制度／検定試験

2次試験 科目D(時事知識)の参考問題を更新 —PRプランナー資格制度 Web サイトで公開中—

資格委員会

PRプランナー資格認定検定試験は、総合的な基本知識を問う1次試験、専門領域別に知識を問う2次試験、実務的な企画力を問う3次試験の3段階で構成されており、試験を通して体系的に“パブリックリレーションズ”が履修できる内容となっています。また、2次試験は4つの科目で構成され、コーポレート・コミュニケーション、マーケティング・コミュニケーション、広報・PR実務、そして時事知識(政治・経済・国際・社会・文化・芸能・スポーツ)となっています。

PRプランナー資格制度 Web サイトでは各試験の参考問題を掲載していますが、科目D(時事問題)を、今年の5月に実施した第33回2次試験で、実際に出題された内容に更新しました。

その中から1問、掲載させていただきますので、お時間のある時に、ぜひ挑戦してみませんか！

出題テーマ：国際

問 2022年10月、ノルウェーのノーベル賞委員会は2022年のノーベル平和賞を、ロシアによる2月の侵攻後、戦争犯罪の記録に取り組むウクライナの人権団体「市民自由センター」、ロシアのプーチン大統領の強権体制に抵抗して人権活動を続け解散させられた団体「メモリアル」、ベラルーシの人権活動家アレシ・ビャリャツキ氏の1個人2団体に授与すると発表した。「ノーベル平和賞」に関する次の記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- 2021年の平和賞はプーチン政権に臆せず調査報道を続けた独立系新聞のムラトフ編集長が受賞し、ロシア関係は2年連続となった。
- ノーベル賞のうち平和賞以外はスウェーデン・ストックホルムで選考、授与するが、平和賞はノルウェー国会を選んだメンバーによる委員会が選考する。
- 授賞式はノルウェーの首都オスロで行われ、共同受賞は賞金を分け合う。
- 日本人はこれまでノーベル平和賞の受賞者はいない。

試験スケジュール等につきましては、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



※上記参考問題の正解と解説は、Web にございます。

http://pr-shikaku.prsj.or.jp/reference/sample_2nd_exam_d

PRプランナー資格認定制度／検定試験

90名のPRプランナー誕生、資格取得者は累計 3,186名

資格委員会

昨年3月に実施されたPRプランナー資格認定検定試験／3次試験では、合格者のうち90名が、6月に行われた書類審査を経て、PRプランナーの資格を取得されました。

長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表して、ご氏名等を公表させていただきますとともに、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

2022年度後期（第32回）PRSJ認定PRプランナー

(50音順／敬称略)

◇個人名、所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

秋穂 進也 埼玉県
伊藤 龍太郎 (株)ゲオホールディングス
上間 綾乃 (株)トレジャー・ファクトリー
内山 千鶴 デロイトトーマツグループ
梅澤 香矢乃 (株)野村総合研究所
鹿江 美沙 (株)ティーガイア
川島 結花 (株)電通 PR コンサルティング
川畑 大地 (株)電通 PR コンサルティング
倉島 洋介 (株)エレクトロニック・ライブラリー
桑原 迪 PayPay(株)
小島 悠 トータル・コミュニケーションズ(株)
小林 里佳子 HOPE(株)
清水 菜穂子 (株)プラチナム
杉原 孝行 (株)バイオマスレジンマーケティング
須永 由美子 オフィスアンダンテ(同)
関根 香世 KDDI(株)
高橋 美咲 広島建設(株)
武田 奈々 (株)電通
只友 真理 PwC あらた有限責任監査法人
中島 秋津子 (株)STUDIO K
中園 信吾 プレスリリースかごしま
中村 英孝 東日本旅客鉄道(株)
西 はる菜 NRI セキュアテクノロジーズ(株)
西浦 瑠理 (株)NTT ドコモ
野口 尚子 東京消防庁
萩尾 楽子 GO(株)
早坂 豪 千葉テレビ放送(株)
姫野 亜季 (株)ヤマタネ
平岡 直樹 KDDI(株)
古屋 勝英 鴻池運輸(株)

宮越 雅裕 (株)マテリアル
茂木 厚太郎 サッポロビール(株)
山下 未生 凸版印刷(株)
山名 由希 (株)alma
吉川 信幸 (株)京進
渡邊 友理 (株)電通 PR コンサルティング

◇個人名、所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

沖山 英里 PR 関連会社
栗原 光彦 一般企業(広報・PR 関連部署)
合原 兆二 一般企業(その他の部署)
佐藤 菜摘 一般企業(広報・PR 関連部署)
鈴木 將太 一般企業(広報・PR 関連部署)
谷口 玲子 一般企業(広報・PR 関連部署)
中山 瑞穂 その他
別府 真由美 一般企業(広報・PR 関連部署)
宮澤 佳来 PR 関連会社
宮本 紗絵 その他
室市 雅則 各種団体
湯浅 恵 一般企業(広報・PR 関連部署)

◇所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

男性 (株)NTT ドコモ
女性 エバラ食品工業(株)
男性 (株)カーツメディアワークス
女性 (株)カーツメディアワークス
女性 菊川工業(株)
女性 キーサイト・テクノロジー(株)
女性 JCOM(株)
女性 住友商事(株)
女性 大日本印刷(株)
女性 富士通(株)
女性 (株)ベンチャー広報

◇所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

PR 関連会社 … 男性 1 名
一般企業(広報・PR 関連部署) … 男性 2 名、女性 7 名
一般企業(その他の部署) … 男性 1 名

※上記PRプランナーの皆様には事前に掲載の承諾を得ております。

パブリックリレーションズ実務講座 2023**今年も「新任広報部長講座」を対面開講****～企業広報、メディア、法曹から講師が登壇し 9 名が受講～****教育委員会**

協会は、広報部門を統括する上級管理職に新たに着任されたみなさまを対象とする「新任広報部長講座」を7月26日に「ミーティングスペースAP新橋」にて開講しました。

2017年の初回以降は年に1回開講し、本年度で第7回を迎えた「新任広報部長講座」。広報部長や広報担当役員など上級管理者のニーズに応える少数限定のマネジメント研修として、今回は9名のみなさまが受講されました。

7月26日午後2時に講座はスタート。協会の教育委員長 鈴木孝徳氏(株式会社井之上パブリックリレーションズ)の挨拶に続き、株式会社コーサー執行役員/経営企画部長の原谷美典氏が最初の講師として登壇されました。

同社で長年にわたり広報業務の経験の深い原谷氏。「広報に求められる機能の進化」とのタイトルのもとに、みずからがてがけた業務を商品広報、企業広報、経営広報と位置づけ、考え方や取組みのポイント、さらに広報の責任者の心得として日頃から心掛け部下に伝えていることについて60分にわたり講演されました。

続いて朝日新聞東京本社 経済部長の西山公隆氏が登壇。「広報に行けば、企業がわかる～メディアとの関係は『7:3』で」とユニークに題された講演では、経済部長として力をいれているポイントや企業との好ましい関係についての考え方、企業広報への希望などを自らの記者経験を振り返りながらお話しいただきました。

そして3番目の講座は西村あさひ法律事務所の鈴木悠介氏が担当しています。鈴木氏はテレビの放送記者を経て法曹に入ったベテラン弁護士。法曹のみならず広報についても知見にも優れ、協会の「新任広報部長講座」や「パブリックリレーションズ入門 Web 講座」なども数度にわたりご担当いただきました。今回は「危機管理・企業ガバナンスと広報部長の役割」をタイトルとして、広報業務に伴う法的リスクの低減策と法務部門・弁護士との対応、危機管理における広報部門と法務部門の協働の重要性、企業ガバナンスの強化において広報部門に期待される役割など、広報部長が理解しておくべきポイントをご解説されました。

3講演の終了後は会場を移し、受講者と講師を交えた懇親会を開催。会には講師、受講者、さらに協会の企業部会の関係者も参加し、緊張もほぐれた和やかな雰囲気の中かで交流の輪が咲きました。

企業広報の上級管理者を対象に開講した本講座。今回は対面講座の利点を生かし講師や受講者相互の意見交換も実施、さらに懇親の機会も設け受講者のネットワーク作りにも役立つ場となりました。広報担当役員や広報部長など上級管理者の皆さまの研鑽に貢献する貴重な機会として、教育委員会では今後も開講を計画していきます。

(事務局 真部)



パブリックリレーションズ実務講座 2023

「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」を対面開講

～7月21日・六本木アカデミーヒルズにて～

教育委員会

協会では7月21日、パブリックリレーションズの現場で活躍する中堅実務者のみなさまを対象とする「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」を「六本木アカデミーヒルズ」にて対面開講しました。

本講座は一定の業務経験を有しリーダーとしてパブリックリレーションズの第一線で活躍する中堅実務者を対象とし、社内外の人々との関係性の持ち方や自身が果たすべき役割など日々の業務を遂行するうえで要となるポイントの習得をめざしています。昨年はコロナ禍のためオンデマンド講座として開講、今年は状況が改善したこともあり多数の受講者を集める対面開催としました。



講師には、大手デベロッパー・不動産会社である森ビル株式会社で20数年にわたり一貫して広報畑を歩まれた特任執行役員 広報室長の野村秀樹氏が登壇、「広報」の存在価値を高めるには？～中堅広報実務者が持つべき視座、考え方の要諦と実務～」をタイトルとして、質疑を交えながら約2時間のお話をいただきました。

講座では経営機能の一部である広報業務の重要性や仕事の意義をはじめとして、広報の仕事にかかわる中堅実務者が広報の業務や部門、個人の価値を高めるためには何をなすべきか、広報業務を戦略的に遂行していくにはどのように考えて取り組んでいくことが重要かなど、森ビル広報室における長年の経験から培われた野村氏の広報観が十二分に込められた講演をいただきました。講演終了後には受講者から熱のこもったいくつもの質問が寄せられ、その一つひとつについていねいな回答が行われました。



講座アンケートでは受講者から、「中堅の広報担当としてどのような視点で広報活動に取り組んでいければと考えていたので大変参考になった」、「現場仕事との向き合いで忘れてしまっていた、そもそもの広報の仕事の意義やスタンスを改めて考えさせられる機会となりました」、「軸を持つことの重要性、非常に身にしみました。改めて仕事の本質に立ち返ることができました」などの感想が寄せられ、中堅実務者が広報パーソンとして自身のキャリアを振り返る貴重な機会となったことがうかがえます。

(事務局 真部)

4年ぶりに夏季情報交換会(兼新入会員歓迎会)を開催し、大盛況

日時:2023年7月12日(水)18:30~20:30

会場:「Un Café (アンカフェ)」(渋谷区神宮前 ※国連大学ウラ)

国際・交流委員会

国際・交流委員会は4年ぶりとなる「夏季情報交換会(兼新入会員歓迎会)」を7月12日に表参道「Un Café (アンカフェ)」で開催しました。新入会員20名を含む68名が参加し、大賑わいの交流会となりました。

牧口理事長、脇山国際・交流委員長の挨拶、乾杯の後、各部会・委員会の紹介、新入会員の自己紹介、名刺交換まで、活発な会話が会場の隅々で交わされ、濃密なコミュニケーションの機会になりました。

参加者の中から協会の活動に運営側で参加したいとのご希望が寄せられ、部会・委員会の新メンバーが誕生し、実のあるイベントとなりました。

今回参加できなかったみなさま、次回は是非お会いしましょう。



国際・交流委員長：脇山亜希子（パイオニア(株) CPR0）

司会進行：事務局 青田浩治

文責：事務局 青田浩治

■ 会員限定

**第5回「企業部会総会」を7月5日に開催
—新規会員に協会活動の魅力をPR、
年次総会を立食形式で完全リアル開催—**

企業部会幹事会

企業部会では、第5回「企業部会総会」を2023年7月5日、東京・溜池山王の春秋プライベートフロアで開催しました。

企業部会総会は、新規入会された正会員や、正会員登録者の人事異動等で後任となられた方、また協会のイベントにまだ参加実績のない会員を中心に、協会活動への理解促進と、入会メリットを体感していただく場、さらに会員相互のネットワーク構築の場として、2018年から年1回の開催を前提にスタートしました。

しかし、コロナ禍により20年は第3回の総会をオンラインで開催、21年は中止となっていました。22年は人数制限と着席・正餐形式のマスク会食という規模を縮小しての開催でしたが今年は立食形式で制限なしで実施しました。当日は16社31名（協会事務局3名、幹事7名含む）のご参加をいただき、活発な名刺交換も行われ、約2時間の会は盛会裏に閉会しました。

■ 会員限定

PR業部会ワイガヤ会(7月4日)開催報告

**40名の若手・中堅PRパーソンが集結、ACC、PRアワードグランプリの
審査委員長も参加して、ヨコ・ナナメの関係づくり**

PR業部会

PR業部会では若手・中堅PRパーソンのヨコ・ナナメの関係づくりのために、業界をリードするPRパーソンを囲んで日頃の仕事上の悩みや、アイデアの作り方などをフランクな雰囲気の中で語り合い、交流する「ワイガヤ会」を年1、2回開催しています。

コロナの影響でここ数年はオンラインでの開催でしたが、2023年7月4日に4年ぶりとなるリアルでのワイガヤ会を開催。40名の参加となりました。

■ 正会員・個人会員限定

第226回定例研究会

『日経クロストrend』の取扱説明書
～編集方針と最新マーケットrend、そしてPRパーソンとのいい関係～

講 師:日経BP 『日経クロストrend』編集長
勝俣哲生 氏

第226回定例研究会は、7月28日(金)オンラインで開催しました。講師は日経BP 『日経クロストrend』編集長 勝俣哲生。テーマは「『日経クロストrend』の取扱説明書～編集方針と最新マーケットrend、そしてPRパーソンとのいい関係～」でした。

協会掲載記事

● 8月1日(火) 『広報会議』9月号 (株式会社宣伝会議)

『広報会議』8月号における連載コラムで、当協会の「2023 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」の発行について記事掲載されました。

コラムでは、「2023 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」の概要、本号の特徴をはじめとして、「座談会：広報課題の現在地」「ChatGPTによる変化」など掲載されている内容の一部を紹介しています。

● 8月25日(金) 『千葉日報』 (千葉日报社)

『千葉日報』8月25日号に、当協会が「PRアワードグランプリ2023」エントリーを受付していることが記事掲載されました。

記事では募集の実施に加え、料金が半額となる早期エントリーの特典、今年で24回迎えるとの本アワードの歴史、昨年度のグランプリ受賞事例などが紹介されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■ 入退会・変更会員

(7月度理事会承認 ※社名・氏名五十音順)

I. 新入・退会・変更会員 (7月)

①新入会員

◇ 正会員 5名 (社名50音順)

<企>	森 優子氏 (8月入会)	【東京】	(株)INPEX 経営企画本部 広報 IR ユニット 広報グループ
<企>	小笠原 恭子 氏 (8月入会)	【東京】	沖電気工業(株) 広報室 広報チーム チームマネージャー
<企>	平野 竜一郎 氏 (8月入会)	【東京】	住商メタルワン鋼管(株) 常務執行役員 経営企画室長
<PR>	小林 秀行 氏 (8月入会)	【東京】	トランサムノット(同)
<企>	岡本 祥治 氏 (8月入会)	【大阪】	不二製油グループ本社(株) 広報グループ/グループリーダー

◇ 個人会員 3名 (入会月別 氏名50音順)

早坂 豪氏 (7月入会)	【埼玉】	千葉テレビ放送(株) 経営企画部 参事
藤田 久美子 氏 (7月入会)	【東京】	コムチュア(株) コーポレート本部秘書室兼広報部
堀井 淳 氏 (7月入会)	【東京】	パスファインド(株)

②変更者

◇ 正会員 5名 (会社名50音順)

山内 敦 氏 氏	から	河内 淳史 氏	(福)恩賜財団 済生会 (広報室 室長)
片山 知也 氏	から	長谷川 尚美 氏	京王電鉄(株) (広報部 部長)
上坂 真人 氏	から	杉原 麻美 氏	(株)集英社 (広報部 部長)
松本 博久 氏	から	宇佐美 昌和 氏	宝ホールディングス(株) (広報・IR 部 部長)
山本 寛之 氏	から	細谷 祥久 氏	ヤマト運輸(株) (執行役員 コーポレートコミュニケーション担当)

③退会者 <2023年3月31日付>

◇個人会員(報告) 1名 (氏名50音順)

伊達 雅之 氏 ※2023年4月から正会員に登録済み：日揮ホールディングス(株)

<令和5年8月1日からの会員数 (※7月13日時点) >

種別	当月合計	内訳	会社数	会員数	前月 (2023年7月)
正会員	会社数	企業	185社	188名	会社数
	341社	PR業	140社	149名	336社
	会員人数	その他(官庁・団体)	16社	16名	会員人数
	353名	(うち関西)	(60社)	(60名)	348名
個人会員	312名	/			310名
准会員	45名				47名
法人登録会員	14名				14名
特別会員	3名				3名
総員数合計	727名				722名
法人賛助会員	1社	1社			



事務局の青田です。

猛暑の8月が過ぎ、やっと過ごしやすくなったかと思ったところで、今度はコロナとインフルエンザが急襲しています。みなさま、どうぞご自愛ください。

協会は夏休みを終え、本格的に動き始めました。講座やイベントがさまざま予定されていますが、コロナにも配慮しつつ、スムーズに実施したいものです。

今月のトピックをご紹介します。

■ 関西部会が新たな体制で動き始めました！

関西の新事務局長に曾根氏、新スタッフに IT/ネットに精通した小柴氏を迎え、現スタッフの梅垣さん含め3人の関西事務局体制となり、細見部会長、齋藤副部会長のリードのもとに関西部会が新たなスタートを切りました。

今後は、あらためて関西部会の活動のあり方を議論し、PRSJ 全体の活動にこれまで以上に広くコミットすること、一方で関西エリア固有の課題や要望に応じた活動、取り組みを行っていくことになりそうです。

会員のみなさまにはご注目、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■ 10月6日、企業部会・関西部会の共催で第29回「広報活動研究会」を開催！

企業部会と関西部会が合同での初の試みとして、「近畿大学 東大阪キャンパス」見学会を実施します。コロナ禍を経て、オンラインでの会議・イベントが定着したことにより、地域を越えたコミュニケーションが可能になりましたが、今回はリアルイベントを東京と関西合同で行おうというチャレンジです。見学後には懇親会を開催し、両部会の交流を深めることとなっています。

会員のみなさま、可能な方には是非ご参加いただきたく。

■ 「ひとり広報プロジェクト」が協会横断チームで次のステージに！

昨年来、協会の重点テーマのひとつとして取り組んでいる「ひとり広報」のプロジェクトが新たな体制で2ndステージに入りました！

個人会員施策担当の本田理事、渡邊香織理事、広報委員会の日比谷さんに加えて、企業部会（および教育委員会）からリストの田尻さん、PR業部会からPR Table の久保さん、関西部会から細見理事（部会長）がメンバーとなり、協会横断チームとなりました。

皮切りの活動として「ひとり広報シンポジウム」を計画中です。ご注目ください！

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

関西支部 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F